

2023

令和5年6月15日

第19号

(通算65号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 就職合格,嬉しい報告!



上左から 紺野圭汰さん、谷田部康一郎さん 下左から 小林優希さん、山田愛璃さん

本校で学ぶIT専門技術と、卒業生の活躍が注目されています。「株式会社アプリシエイト」に合格した学生は次のとおりです。

- 紺野 圭汰 さん (水戸工高卒)
- 谷田部康一郎さん (石岡一高卒)
- 小林 優希 さん (常磐大学高卒)
- 山田 愛璃 さん (土浦三高卒)



3 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 日本経済新聞(2023年6月4日)
体内時計を味方にする

◇要約

●吉田海冬さん(茨城東高卒)
体内時計は、24.5時間周期で動いている。1日は24時間なので放っておくと睡眠障害やガンなど様々な病気が進行していく。

改善策は光と食と運動である。体内時計には、主時計と副時計がある。光刺激が覚醒・睡眠リズムを作る。

◇感想

●小野瀬あゆさん(那珂高卒)
私はこの学校に入学するまで、ほぼ昼夜逆転の生活を送っていました。しかし、入学してからは今までになく体内時計が整っていると思います。まだ、朝は辛い時がありますが、この生活を卒業後も続けられるように頑張ります。

●木戸仁哉さん(太田一高卒)
体内時計の存在は前々から知っていたので、毎日屋外の光を浴びるよう習慣付けています。

しかし、食事によってセットされる副時計については知らなかったため、朝食を抜きがちな今の食生活をこの機会に見直していきたい。

●一戸虹都美さん(水戸三高卒)
「早寝、早起き、朝ごはん」と良く聞かすが、記事を読んで全部そろえることが重要だと思えた。

ただ起きるだけではなく、朝日を浴びることで体内時計を整えられることが分かった。食事時間もそろえられるようにしたい。

●皆川航太さん(水城高卒)
体内時計は24.5時間周期であったり、体内時計のズレが睡眠障害だけでなく、様々な病気につながるなど、初めて耳にする内容が多い記事だった。光・食・運動を意識して生活したい。



Q1 これからのIT活用と抱負?

A1 紺野さん「人々を助けられるようなシステムの開発。思いやりのある技術者」
谷田部さん「人や社会に貢献できる技術者」 小林さん「人々の生活を豊かにするIT技術者」
山田さん「人の気持ちに寄り添い、幸せに貢献できるようなIT技術者」

Q2 あなたの趣味は?

A2 紺野さん「オンラインゲームでの仲間との助け合い」 谷田部さん「友人とゲームしたりすること」
小林さん「ゲーム、音楽を聴く事」 山田さん「洋服やコスメを買うことや、気になる商品を調べる事」

Q3 本校での学びと成果は?

A3 紺野さん「プログラムを学び社会問題を解決する」 谷田部さん「グループ学習によりコミュニケーション能力の向上した」
小林さん「情報技術について学ぶことが出来た。基本情報処理技術者試験も合格することが出来た」
山田さん「プログラミング力や課題解決力が身に付きました」

2 IT人材が国力の鍵に



高校生の質問を受ける三人の講師

<講演テーマと講師>

- ①ITエンジニアが未来を拓く
~DXの主役は、君たちだ!!~
茨城県政策企画部情報化統括監 (CIO) 谷口英宣 氏
- ②ITで作るこれからの銀行
常陽銀行経営企画部DX戦略室
小瀬龍志 氏
- ③ITエンジニアの心構え
~ホワイトハッカーに学ぼう~
茨城県警察本部サイバー戦略推進室

6月14日(水)、県立水戸工業高等学校において、IT人材育成のための「スタートアップ講演会」が開催され、情報技術科の1年生が熱心に聞き入っていました。

この事業は、本校も関わる産学官連携事業「いばらきP-TECH」が開催するものです。講演では、①県の情報セキュリティについて、②ITを活用するこれからの銀行、③県警のサイバーセキュリティについて、講師から詳しい説明がありました。

講演を通し、未来社会の創造には、ITエンジニアが不可欠であり、世界を見ても、国内総生産(GDP)は、ITエンジニアの数に強い相関関係があることから、IT人材が国力の鍵であるとのメッセージがありました。